

事業所名		キッズサポート ひだまり				支援プログラム（参考様式）				作成日		令和8	年	7	月	20	日	
法人（事業所）理念		子どもたちが一人ひとり安心して過ごせる居場所の中で、それぞれの発達段階や特性を大切にしながら、自分らしく成長することを支援します。また保護者や地域とのつながりの中で、子どもたち自身が考え、楽しみ、様々な経験を通して成長していけるよう支援します。																
支援方針		子ども一人ひとりの発達段階や特性、興味・関心を大切にしながら、遊びや日常生活の中で様々な経験を積み重ね、心身の健やかな成長を支援します。デジリハ等のデジタル技術も活用し、楽しみながら身体を動かす活動や感覚・認知面への支援を行います。また、多機能型事業所の特性を活かし、放課後等デイサービスを利用する年齢や発達段階の異なる児童との関わりを通して、多様なコミュニケーションや社会性を育む機会を提供します。年上の児童から学ぶ経験や様々な年齢の児童との交流を通して、一人ひとりが安心して自分らしく成長できる環境づくりを行います。																
営業時間		平日：13時00分から				平日：17時00分まで				送迎実施の有無		ありなし						
		支 援 内 容																
本人支援	健康・生活	安心して過ごせる環境を整え、一人ひとりの発達段階に応じた基本的生活習慣の習得を支援します。食事、排泄、着替え、手洗い、身支度等について、子どもの「自分でやってみたい」という気持ちを大切にしながら、必要に応じた見守りや援助を行います。また活動と休息のバランスを整え、健康的な生活リズムを身に付けられるよう支援します。																
	運動・感覚	遊びや運動活動を通して、身体を動かす楽しさを感じながら、走る・跳ぶ・登る等の粗大運動や、製作活動等を通した手指の操作を経験できるよう支援します。デジリハ等のデジタル技術も活用し、一人ひとりの発達段階や感覚特性に応じた活動を取り入れます。また、感覚遊びや様々な活動を通して、多様な感覚に触れる経験を重ね、身体の使い方や感覚の調整につながるよう支援します。																
	認知・行動	遊びや日常生活の中で、色・形・数・大きさ・時間等への興味や理解を深め、子どもの発達段階に応じた認知面の成長を支援します。見通しを持って安心して活動に参加できるよう、視覚的な支援や分かりやすい環境設定を行います。また、成功体験を積み重ねることで自信につなげ、自分の気持ちや行動を少しずつ調整できる力を育みます。																
	言語コミュニケーション	子どもが自分の気持ちや要求を安心して表現できるよう、一人ひとりの発達や特性に応じたコミュニケーション方法を大切にします。日常生活や遊び、集団活動の中で、言葉や身振り、表情等を通して人と関わる楽しさを経験できるよう支援します。必要に応じて、視覚的支援や絵カード等も活用しながら、自分の気持ちを伝える力や相手の話を聞く力を育みます。																
	人間関係社会性	安心できる大人との関係を基盤に、友達や周囲の人との関わりを広げていけるよう支援します。遊びや集団活動を通して、順番を待つ、物を貸し借りする、ルールを知る等の経験を重ね、社会性を育みます。また、多機能型事業所の特性を活かし、放課後等デイサービスを利用する児童との異年齢交流を通して、年上の児童を見て学ぶ経験や、様々な人との関わりを経験できる機会を大切にします。一人ひとりの気持ちを受け止めながら、他者と関わる楽しさや、自分と相手の気持ちに気づく力を育てます。																
家族支援		保護者との日常的な情報共有を大切にし、子どもの事業所での様子や成長、活動内容について共有します。保護者からの相談に応じ、子育てや発達に関する不安や悩みに寄り添いながら、家庭と事業所が連携して子どもの成長を支えます。必要に応じて関係機関とも情報共有を行い、継続的な支援につなげます。								移行支援		保育園、幼稚園、認定こども園等との連携を図り、子どもが地域の集団生活の中で安心して過ごせるよう支援します。必要に応じて保護者や関係機関と情報共有を行い、子どもの特性や必要な配慮について共通理解を図ります。また、就学を控えた児童については、小学校への円滑な移行につながるよう、生活面や社会性、集団参加等を意識した支援を行います。						
地域支援・地域連携		地域との関係機関や相談支援事業所、保育園、幼稚園、認定こども園、学校等と連携し、子どもと家庭を継続的に支援できる体制づくりを行います。また、地域の公共施設やイベント等への参加を通して、地域とのつながりを持ち、様々な経験を積み機会を提供します。								職員の質の向上		児童発達支援に必要な知識や専門性の向上を目的として、外部研修や内部研修への参加を行います。職員間で日々の支援について情報共有を行い、子ども一人ひとりの発達や特性に応じた支援について検討します。また、虐待防止、身体拘束等の適正化、安全管理等に関する研修を実施し、安心・安全な支援の提供に努めます。						
主な行事等		季節行事や製作活動、感覚遊び、運動遊び、クッキング、戸外活動、地域イベントへの参加等を通して、子どもたちが様々な経験を積みながら、楽しんで成長できる機会を提供します。また、多機能型事業所の特性を活かし、放課後等デイサービスの児童との交流の機会も大切にし、異年齢での関わりを通して社会性やコミュニケーション能力を育みます。																